

助に対するイメージを払拭するために、楽しいこともあると当事者が発信する必要があることや高校生・大学生に同世代の障害当事者から講演することで人材を集めることができるのではないかと意見が出ました。このようなアイデアが出たのは様々な人とディスカッションしたことからのので、色々な人からアイデアを出すことやみんなでやることは面白いし、いいアイデアうまれると思いました。

2日目の第1部は、障害者自立応援センターYAH!DOみやざき山之内さんとCILてくてく川崎さんによる「これからのCILについて考える」と題して、架空のCILの代表がいなくなった場合運営をどのように継続していくかをグループディスカッションしあい、発表を行った。様々な意見が出たが、スタッフが現状把握し、業務分担をすることやスタッフ同士でこまめに話し合いを持つことなどの意見が出ました。第2部は、CILポカラのアンジャナさんによる「ネパール報告」をしてくれました。内容としては、車いす配布事業や介助者集め、自立生活の理念の普及啓発などを述べてくれました。第3部は、自立生活センターてくてくのルフォ事務所移転式・草の根の事業終了式に参加したことや国際障害者の日のパレードに参加したことを伝えてくれました。特に、小牧さんは国際障害者の日のパレードに参加者として、現地の方々と一緒に声出したことや多くの体験をしたことで刺激を受けたこと、この経験から『自身の日頃の活動に対する思いや行動へ移すことが少ないと感じていたことに気づき、これから自分なりに頑張っていきたい』と言っていました。

ニューフェイスの活動報告が行われました。ニューフェイスでは、メンバーの自立生活の様子を撮影し、その様子を特別支援学校の高等部の生徒さんに見てもらうことで、自立生活を知ってもらうを行い、生徒さんたちからも質問が多くあり、楽しい時間を過ごせたことを伝えてくれました。また、ニューフェイスとしての活動の反省は、メンバー揃ってみんなで意見を出し合いたいなどがありました。これからやっていきたい活動内容としては、特別支援学校の生徒に自立生活を知ってもらう活動は持ち回りで継続していきたいことや合宿を行いたいことも述べていました。

閉会式では、長位さん、JILの山本さんから研修の準備への感謝の言葉『これからもJIL、CILを助け合いながら頑張っていこう』と締めくくられました。みなさん、本当に2日間の研修お疲れ様でした。

令和4年度 JIL九州沖縄ブロック研修in沖縄  
CILのパワーから社会変革へ  
主催:全国自立生活センター協議会



みなさんで自立生活センターを、盛り上げていきましょう!!



とりあえず  
カチやる?

